

ChattyInfty3 利用方法

音訳グループやまびこ （文責：水野光子）

2020 年 9 月 7 日

[第 1 版]

目次

1 ChattyInfty3 でできること	3
2 音訳グループやまびこでの利用	3
2.1 合成音声 AITalk を使って音声デイジー	3
2.2 テキストを EPUB 化する機能を使ってマルチメディアデイジー	3
2.3 やまびこ通信	4
3 ChattyInfty3 でグループ作業する際の注意点	4
3.1 バージョンを揃える	4
3.2 どの機能を使おうとしているかを意識する	4
4 目的に応じた作業手順	5

1 ChattyInfty3 でできること

テキストデータを入力して、DAISY 図書を出力することができる。DAISY 2.02 音声デジター、DAISY 2.02 マルチメディアデジター、EPUB 3 マルチメディアデジター、EPUB 3 テキストデジターなど。DAISY 3 も機能として存在するが、2020 年 9 月 6 日現在、出力ファイルに不具合あり（すぐに手で直せる程度の不具合）。

DAISY の種類の違いがわからない方は「[DAISY とは](#)」を参照。

2 音訳グループやまびこでの利用

2.1 合成音声 AITalk を使って音声デジター

区役所や図書館等の広報を DAISY 2.02 形式で音声デジター化する依頼が定期的であり、最近ではそれを ChattyInfty3 に組み込まれた合成音声 AITalk で読み上げさせて作成している。

2.2 テキストを EPUB 化する機能を使ってマルチメディアデジター

すでに試験的にマルチメディアデジターをいくつか作ってみたことはある。今後は絵本等のマルチメディアデジターを国立国会図書館に納本する計画がある。

マルチメディアデジター作成ソフトウェアとして PLEXTALK Producer があるが、それよりも ChattyInfty3 の方を推奨する。その理由は以下のような比較に基づく。

1. ChattyInfty3 の方が PLEXTALK Producer より勝っている点
 1. 文書編集機能が充実している。
 2. フレーズ区切りの指定が簡単である。
 3. 非常に流暢な合成音声 AITalk が組み込まれている。
 4. 数式やその読み上げについて、アクセシビリティの観点から望ましい形で出力できる。
 5. 自動分かち書きを付ける機能がある。
2. PLEXTALK Producer の方が ChattyInfty3 より勝っている点
 1. 人の声を直接録音する機能がある。
 2. 音声ファイルを複数のフレーズに割り当てる機能がある。ChattyInfty3 でも各フレーズに音声ファイルを割り当てられるが、複数のフレーズに一度に割り当てる機能がない。
 3. PLEXTALK Producer のテキスト編集画面では、日本語に無い文字が表示できないという欠点があるが、EPUB 出力ファイル内では正常に表示される。合成音声に適切な話者を選択すれば読み上げも正しい。
ChattyInfty3 ではテキスト編集画面での文字化けは解消されているものの、内部処理は依然として Shift_JIS なので、テキストに日本語に無い文字があると、話者に外国語の合成音声を当てても正しく読み上げられない。さらに、書誌情報に日本語に無い文字があると出力ファイル内の書誌情報が文字化けする。解決方法として、テキスト内の外国文字の読

み上げには外部で作った音声ファイルを当て、書誌情報内の外国文字については納品前のファイル修正で対応する必要がある。

3. どちらも同様な点

1. 自動ふりがな付け機能がある。
2. 簡易 OCR がある。
3. 画像挿入して代替テキストを書き込める。
4. 出力 EPUB ファイルはどちらも[アクセシビリティのガイドライン WCAG](#) に準拠していないので、納品する前にファイルを修正する必要がある。

ChattyInfty3 の欠点である録音機能と音声ファイルの割り当て機能は、Tobi という無料ソフトウェアで補うことができる。また、音声ファイルの割り当てについては、Tobi の操作の方が PLEXTALK Producer より簡単である。

人の声のマルチメディアデジを製作する目的での利用を比較すると、PLEXTALK Producer の方が優位な点は書誌情報内に外国文字がある場合の処理だけである。ChattyInfty3 では、外国文字の書誌情報がある場合に出力ファイルを修正する必要があるが、どちらの場合でもアクセシビリティのために出力ファイルに手を加える必要があることを考慮すれば、手間の違いはほとんどない。総合的に見て ChattyInfty3 と Tobi を合わせて利用する方が利点が多い。

2.3 やまびこ通信

[やまびこ通信](#)は、ChattyInfty3 で作成した原稿を DAISY 2.02 マルチメディア形式で出力し、そのデータをウェブ用に変換して作成している。

3 ChattyInfty3 でグループ作業する際の注意点

3.1 バージョンを揃える

ChattyInfty3 の合成音声機能を使う作業の場合、原稿作成者と校正者は必ず同じバージョンで作業する必要がある。違うバージョンで校正すると、作成者の聞いていた読み上げと違う読み上げを校正することになり、すべての校正作業が無駄になる。

3.2 どの機能を使おうとしているかを意識する

3.2.1. 音声デジを作成する場合

利用する機能はセクション構造の作成と合成音声だけである。本文テキストは納品するものに含まれない。

合成音声の読み上げが正しくなることを目指して作業する。

テキストに手を加えて改行やスペースを入れることは構わない。漢字や記号を他の文字に書き換えるのは、1冊を複数で分担する場合には避ける（同じ単語の表記が分担によって異なると、その単語に対して統一した読み上げをさせることが困難になるため）。

ふりがなは読み上げに影響しないので、ふりがなを付ける操作は無駄になる。

3.2.2. 人の声でマルチメディアデイジーを作成する場合

利用する機能は電子書籍構造の作成とテキスト編集だけである。合成音声は納品するものに含まれない。

電子書籍の構造が原本に沿った形になるようにするため、むやみに改行やスペースを入れてはいけない。原本の漢字や記号を他の文字に書き換えることも禁止。

人の声を当てるための準備として、意味のまとまりから考えて適切な位置に、フレーズ区切りを入れる。

合成音声の読み上げに手を加える操作は無駄になる。

3.2.3. 合成音声でマルチメディアデイジーを作成する場合

電子書籍の構造、テキスト、合成音声、納品するものに含まれる。

適切な書籍構造、原本通りのテキスト、正しい読み上げになるように気を配る。やると無駄になるような操作は特に無い。

4 目的に応じた作業手順

上記のように、ChattyInfty3 で何を作るかによって、やるべき操作・やると無駄な操作が決まる。それぞれの目的に応じた作業手順を別ページに載せる。

- ・ [合成音声で音声デイジー作成（さしあたりプライベート依頼のグループ作業のための説明。別途一般論を書く必要あり）](#)
- ・ 人の声でマルチメディアデイジー作成（作成中）
- ・ [合成音声でマルチメディアデイジー作成（さしあたり「やまびこ通信」のための説明。別途一般論を書く必要あり）](#)